

学術論文 2012～2015 (有審査論文を掲載)

須田 達 研究員・講師

2015年

1. なし

2014年

1. 河野昭彦、齋藤博嗣、佐々木大輔、平澤一樹、須田達、鶴谷奈津子：

学生の相互評価によるアクティブラーニング型授業、工学教育 Vol.62 No.6、pp.62-67、

2014年11月

本論文は、プレゼンテーションの改善を自発的に促す取り組みとして学生間の相互評価を実施した。その結果、学生間の相互評価システムを導入し、学生が積極的に授業に参加するアクティブラーニングの雰囲気を出出することにより、学生の自発的なスキル向上を促すことが可能であると言える。

2013年

1. 羽山徹彩,須田達,千徳英一；

プロジェクトベース学習におけるチーム編成に関する一考察 ,工学教育 Vol.61 No.5, pp.82-87,

2013年10月

本論文はプロジェクトベース学習での成功し易いチーム編成方法を明らかにするために、協調的な学習法で成功する要因の3つを観点として、比較的成功するチームとそうでないチームの違いについて調査した。その結果、「コミュニケーション能力」によるチーム分けを行った場合に、活動が成功したチームが多くなることが確認し、また成功し易いチーム活動の特性として、人見知りしない人や人に不関心でない人、仕事管理を不得手としない人が多く集ったメンバ構成となる傾向であることがわかった。

著書

なし

特許 2012～2015

なし

国際会議及びシンポジウム等 2012～2015

2014年

1. 須田達、棚橋秀光、中村友輔、鈴木祥之：

水平加力実験による飾り組子欄間の構造性能、歴史都市防災論文集 Vol.8、pp.33-40、

2014年7月

本研究は、伝統的な飾り組子欄間の試験体を製作して水平加力実験を行った。その結果、変形に伴い復元力は大幅に向上し、大変形時には大きな耐力を有することが分かった。耐力を発現する力学メカニズムとして、組子の斜材に作用する圧縮力が主たる要素であるが引張力も作用し、同時に格子材には曲げモーメントも作用していることを定量的に確認した。飾り組子欄間は、構成する部材数が多く、安定した復元力特性を示し、大変形においても大きな損傷が生じないことを確認した。

2013年

1. **Tatsuru Suda: STRUCTURAL DETAIL INVESTIGATION AND SEISMIC PERFORMANCE EVALUATION FOR THREE-STORY TRADITIONAL WOODEN HOUSE IN KANAZAWA URBAN AREA, World Conference on Timber Engineering 2014, Quebec, Canada, 2014.8**

2. **山田耕司,鈴木祥之,向坊恭介,須田達:**

伝統構法木造の告示波に対する最大変位応答, 歴史都市防災論文集, Vol.7, pp.89-96, 2013年7月

本研究は、伝統構法木造を対象とした上部構造モデルの違いによる最大層間変位、正負最大すべり料への影響を検討して、告示波における最大滑動量を予測した。また柱脚部の固定度によって上部構造の応答変位が大きく異なることが分かった。

2012年

1. **T. Suda, Y. Suzuki, K. Mukaibou, Y. Tasiro**

“Seismic performance evaluation of temple traditional building reinforced by restoring force due to column rocking”

The 15th World Conference on Earthquake Engineering, September 24-28, 2012, Lisbon, Portugal,

2. **T. Suda, Y. Suzuki, Y. Tashiro, K. Mukaibou**

“Seismic reinforcement for traditional wooden frame by improving restoring force due to column rocking”

Proceedings of 12th World Conference on Timber Engineering 2012, Auckland, New Zealand, 2012.

3. **H. Shimizu, T. Suda, M. Ogasawara, S. Hashimoto, T. Okuda, Y. Suzuki**

“Seismic performance of traditional wooden houses damaged in the 2011 pacific coast TOHOKU earthquake”

Proceedings of 12th World Conference on Timber Engineering 2012, Auckland, New Zealand,

2012.

4. K. Mukaibo, Y. Fujiwara, Y. Ooka, T. Suda, T. Tsuchimoto

“Static horizontal loading test of Japanese traditional timber residence”

Proceedings of 12th World Conference on Timber Engineering 2012, Auckland, New Zealand,
2012.

新聞・報道等 2012～2015

なし

講演会 2013～2015

なし